

法人顧客とのコミュニケーション(ケミカル事業)【14,27,DMA,EN27】

花王のアプローチ

価値あるエコケミカル製品を創出し、環境負荷低減のメリットを顧客と共有することで、社会に貢献します。その実現のために、「社会のサステナビリティに技術革新で貢献する」ことで利益ある成長をめざします。

社会的課題と花王のアプローチ

人口増加や経済の成長に伴い世界的に環境汚染が進行し、特に新興国を中心とする国々で環境問題が深刻化しています。それらの課題に対応するために、化学業界では、環境負荷の低減が重要なコンセプトとなります。花王は、製品を製造するうえでの環境負荷低減と顧客企業先でのケミカル製品使用時における環境負荷低減に注力します。

花王は、「グリーン・イノベーション」と「エコ・テクノロジカルソリューション」の2つを両輪として、環境負荷低減に取り組み、社会のサステナビリティに技術革新で貢献します。

グリーン・イノベーション

グリーン・イノベーションとは、低環境負荷で競争力のある素材(原料)を創出することです。

具体的には、花王の特長を活かし、付加価値の高い天然油脂誘導体を拡大するための投資をグローバルに行なうことに加え、その川上と川下の領域をさらに開拓していきます。

たとえば、食糧問題という大きな社会的課題解決に向け、非可食原料の活用や化石原料代替となるバイオマス原料から特長ある川下素材開発を行なっています。

エコ・テクノロジカルソリューション

特に環境負荷低減の観点から顧客のニーズや課題を把握し、顧客の価値向上につながる画期的な製品開発を行ないます。

世界初のデジタル商業印刷用VOCレス水性インクジェット用顔料インク開発は、その代表例の一つです。

方針

エコケミカル製品販売を通して、社会のサステナビリティに技術革新で貢献します。

広く産業界の環境負荷低減につながる“よきモノづくり”に邁進し、環境価値向上製品比率をグローバルにさらに高めていき

「グリーン・イノベーション」と「エコ・テクノロジカルソリューション」



ます。それを実現するために、市場や顧客との信頼関係をさらに強化するとともに、さまざまな業種の企業や工業会とも連携して、社会のサステナビリティに技術革新で貢献できるように取り組んでいきます。

体制

1. エコケミカル製品の開発・生産体制

- ・物質や現象のしくみを解き明かす基盤技術研究を通じた本質解析による「ナノ界面制御」「高分子機能制御」「油脂精密変換」等のコア技術を最大限に活用
- ・環境負荷低減に配慮したグローバル生産体制の構築

2. エコケミカル製品をグローバルに販売するための体制

- ・国内販売：専門性の高い販売代理店を起用し、顧客との緊密なコミュニケーションを実現する販売体制
- ・海外の運営体制：各主要国に整備された販売生産拠点と、それらを効果的に運営するネットワーク体制
- ・品質保証本部との協働によるグローバルな化学物質管理や輸出入管理の強化等によるグローバルビジネスの支援体制

教育と浸透

- ・年2回開催のケミカル事業全体会議で確定する「ケミカル事業のめざす事業像」をケミカル事業担当者全員に周知
- ・ISO14001を含む環境関連情報のケミカル事業担当者全員への周知
- ・グローバルRC活動による海外関係会社への化学物質法規制遵守の強化
- ・新入社員に対する環境教育やケミカル製品の販売代理店への啓発活動の実施
- ・花王新人教育(年1回)
- ・代理店新人研修(2年に1回)
- ・代理店情報交換会(年1回)

中長期目標

ケミカル製品の製造段階やケミカル製品使用時に環境負荷を低減できる製品を「エコケミカル製品」と位置づけています。今後、「グリーン・イノベーション」と「エコ・テクノロジカルソリューション」を推進して、ケミカル事業に占めるエコケミカル関連製品の比率が80%以上になることをめざします。

2016年の実績

- ・VOCLレス化技術を切り口に水性インクジェット用顔料インクで、デジタル商業印刷分野に進出(2社のM&Aを実施)
- ・販売代理店との情報交換会を実施

ステークホルダーとの協働

- ・「グリーン・イノベーション」を推進するための油脂原料のサプライヤー等を含む東南アジア企業との連携強化を行なうために、関連企業との面談を通じて花王の姿勢を明確に伝えています。
- ・「エコ・テクノロジカルソリューション」を推進するための新規パートナーを探索しています。
- ・国内外の化学物質法規制やエコ関連情報に関し、国内では販売代理店と、海外では関係会社と定期的に情報交換を実施しています。
- ・関係省庁や業界団体が推進する化学物質管理規制に関する活動に積極的に参加しています。

行政機関

- ・環境省、経済産業省、厚生労働省などが幹事会メンバーとなっている化学物質国際対応ネットワークに参加し、国際的な化学物質対策について、国内の企業・団体・行政機関や海外の行政機関・産業界等と交流・対話を年数回行なっています。
- ・企業の化学物質管理制度への取り組みに関して、経済産業省と花王との情報交換会を年2回行ないました。

業界団体

- ・一般社団法人日本化学工業協会が推進しているGPS/JIPS推進部会のワーキンググループに毎月参加し、GPS活動の推進とGPS安全性要約書の発行に貢献しています。
- ・アーティクルマネジメント推進協議会(JAMP)の運営委員会や各技術委員会に毎月参加し、製品含有化学物質情報の業界共通様式(MSDSplusやchemSHERPA)の運営や改訂に貢献しています。
- ・日本界面活性剤工業会や化粧品原料協会等の各種定例委員会や定例部会に参加し、化学物質管理規制を含めたさまざまな活動に貢献しています。

→P41「エコロジー>化学物質」

国際的イニシアチブ

- ・RSPOなどのサステナビリティ活動を推進するための国内外の組織との連携を強化しています。

→P123「カルチャー>持続可能で責任ある調達」

具体的な取り組み

環境保全に寄与する製品

グローバル

水性インクジェット用顔料インク

これまで培ってきた「顔料ナノ分散技術」をさらに応用し、軟包装用フィルム基材への印刷に対して、VOCレス設計※で環境負荷を低減した世界初の水性インクジェット用顔料インク開発に成功しました。その結果、高品質で環境負荷を低減した、軟包装用フィルム印刷物を提供できました。さらに、この水性インクジェット用顔料インクの技術は、水性グラビアインクに展開できることも確認しています。

低温定着トナー

コピー機が使用する電力の半分以上が、トナーを溶かすための熱エネルギーに消費されています。コピー機やプリンターの環境負荷低減には、より低温で定着可能なトナーバインダーの開発が重要で、こうしたニーズに対して開発されたのが花王のポリエステル樹脂トナーバインダーです。花王のポリエステル樹脂を使用したトナーは、従来のトナーに比べ、30℃以上低い温度で溶かすことが可能で、紙との定着性に優れ、印刷の高速化と省エネルギーの両立を実現しています。

ビスコトップ

河川や海岸などの水辺で行なわれる工事では、環境や水質を汚さないように、水質汚濁を防止するための対策も必要となります。長大な橋や海峡に建設されるつり橋などの橋脚工事では、河川や海の中に橋脚を構築するために、粘性が高く水に分散しない水中コンクリートが使用されます。また、地下水脈の付近で行なう工事では、地下水の水質汚濁を防ぐ配慮も必要となります。このような水に関わる環境では、注入材やコンクリートなどの無機材料に増粘剤を添加して、水中不分離性を付与する必要があります。花王が開発した高機能特殊増粘剤「ビスコトップ」は、従来品にない優れた高粘性の注入材やコンクリートが得られ、水辺の環境を壊すことなく施工が可能となりました。また、福島第一原子力発電所ではトレンチ内の高濃度汚染水を除去する工事にも使用されています。

※ VOCレス設計

印刷工程において排出されるVOCが(炭素換算で)700ppmC以下のものをVOCレスと定義。

VOC(volatile organic compounds):揮発性を有し、大気中で気体となる有機化合物の総称。日本では改正大気汚染防止法により、VOC排出が規制されている。

顧客企業・代理店との連携

グローバル

国内外の化学物質関連法規制の新規公布や改正に伴い、化学物質管理におけるサプライチェーンでの情報伝達が必須となり、また輸出入時の法令の遵守や震災等の災害時における情報の共有、顧客との受発注時の納入調整対応など、販売代理店の役割はますます拡大し、重要になってきています。

花王では、ケミカル事業における主な販売代理店と、ケミカル製品に関する国内外の各種法規制の最新動向や環境・安全の取り組み、受発注などの情報交換や研修会を定期的を実施しています。

販売代理店の発注業務担当者との情報交換会は、2015年の

和歌山事業場での開催に続き、「受発注業務に関する情報交換会」を2016年7月にすみだ事業場で開催しました。11社、18人の方々にご参加いただき、受発注業務に関わる課題や要望について議論し、受発注システムを改善しました。

また、11月から12月にはケミカル事業における主要な販売代理店を訪問し、ケミカル製品に関係する国内外の各種法規制の最新動向やサプライチェーンにおける販売代理店の役割などの情報交換を行ないました。

今後もこれらの活動を通じて、顧客企業や販売代理店との緊密なコミュニケーションを推進します。